

2021 年度実施概要

学校名

南あわじ市立沼島小学校

採択活動名

ふるさと沼島の海に親しみ、守ろうとする児童の育成

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 沼島の海に親しもう	1・2年	生活科
2. 沼島の海を知ろう	3・4年	総合
3. 沼島の海の未来を考えよう	5・6年	総合

取り組みの概要

海に囲まれている離島の学校として全校生対象に「海」をテーマにカリキュラム開発を行った。

1・2年生は、生活科の時間に、「海の生き物調べ」を行った。磯に生きている生き物を探して捕まえたり、その名前を調べたりした。また、その課題で、多くのゴミがあることに気づき、海洋ゴミを拾い、環境問題についても、1・2年生なりに考えるようにした。また、「ぬしまのじまん」（自分の地域のいいところ）を他の地域の友だちに紹介しよう、という活動を行った。子どもたちは、「ぬしまのじまん」として美しい海（沼島海水浴場）を選び、それを動画にして北海道の奥尻小学校の児童に紹介した。

3・4年生は、総合的な学習の時間と図工の時間に「沼島の海を知る」活動を行い、それを絵（ポスター）にする活動を行った。「沼島の海を知る」活動の中で、今年度は、「海のゴミ」について総合的な学習の時間に学習し、そのまとめとして、「全国エコメッセージ絵画コンクール」に出す作品作りを行った。沼島の海の環境を大切にしようという意欲を持たせた。「沼島の海を知る」ことを通して、その美しさを守ろうと考えた絵は、たいへん工夫されていた。

5・6年生は、総合的な学習の時間に、沼島の未来の環境について課題を決めて学習を進めた。「海洋ゴミ問題」の学習を進める際に、実際に海水浴場にゴミを拾いに行き、その種類や量などを記録していった。そして、それらのゴミを減らすにはどのようにしたらいいかを専門家を招いて意見を聞く学習を行った。学んだことを整理し、プレゼンにして校内の集会活動で発表を行った。

さらに昨年度と同様に、小規模校のため「全校生」での活動もカリキュラム化して実施した。沼島の海を楽しむ活動として「カヌー体験」を行った。昨年度から取り組んでいるので、パドルの漕ぎ方については、たいへん上手になってきて、風を切って進むという「海を楽しむ」という活動ができた。

さらに、本年度も海の恵みを体感するために「魚料理体験」を実施した。地元で捕れた魚を、講師である地元の漁師さんの手ほどきで、子ども自身が魚を1匹さばく体験を行った。コロナ禍であるので、一人1匹の魚をさばき、それを干物にして自分で持って帰って自宅で食べるという活動に切り替えた。魚をさわる経験が少ない児童もしたが、料理を通じて魚にふれて、親しむ機会として設定した。

環境体験学習として、「海釣り体験」も行った。こちらもコロナ禍のため冬にずれこんだが、たくさんの魚を釣ることができて、沼島の海の恵みを感じることができた。低学年の児童も、自ら釣り上げることで、それを実感し、「海の楽しさ」も感じるようにした。

活動中の写真

デジタルデータにて2〜3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)



1/12 海洋ゴミを拾いながら観察



8/31 カヌー体験



12 / 7 魚料理教室